



香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集「みんなで」 第35号 2020.7.6(月)

五〇m走の不思議をさがせ その③

前の時間では、50 m走の後半は勢いがあるから速く走れるということがわかったのですが、後半がしんどいと感じるのはどうしてなのか？ 50 mの走りが実際にはどうなっているのかを確かめる実験をしてもらいました。

(Q)あなたは50 m走では、どこが一番速いと思いますか？

0 ~ 10 ~ 20 ~ 30 ~ 40 ~ 50 m

△予想▽

0 m ~ 10 m : 0人  
 10 m ~ 20 m : 1人  
 20 m ~ 30 m : 9人  
 30 m ~ 40 m : 20人  
 40 m ~ 50 m : 1人

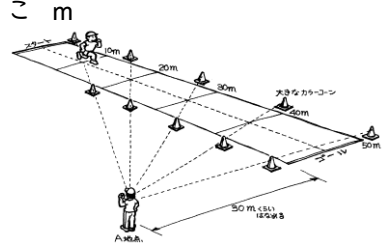
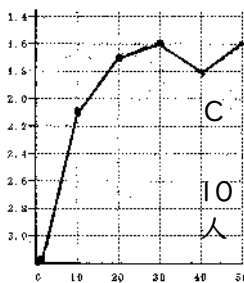
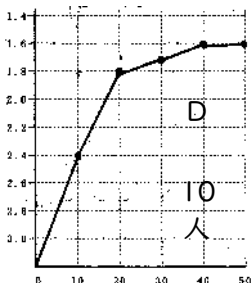
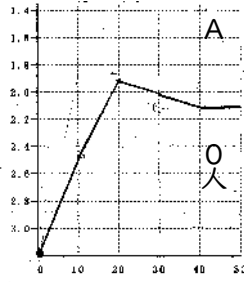
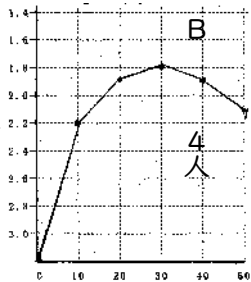


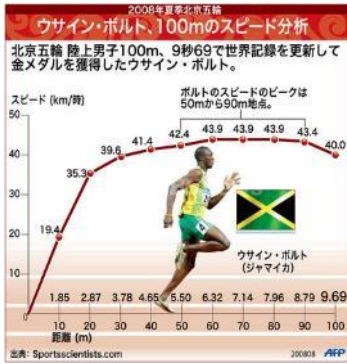
予想を見るかぎり、30 m ~ 40 mあたりが一番速いと感じている人が多かったようです。それで実験ですが、正確なデータが必要なので、今回も先生が記録をとりました。10 mごとのラップタイムをとって、それをグラフに表しました。(スピード曲線と言います)

△結果▽

0 m ~ 10 m : 0人  
 10 m ~ 20 m : 1人  
 20 m ~ 30 m : 11人  
 30 m ~ 40 m : 10人  
 40 m ~ 50 m : 8人

結果は、20 m ~ 30 m、30 m ~ 40 mが一番速くて、そこからタイムが落ちてきている人が多かったです。これをグラフにするとよくわかります。タイプ別に次のように分けることができます。





速さが落ちこんでいる所の走りを改善できたなら、それだけタイムをのばすことができるという事です。

- A・B……20 mや30 mから速さが落ちてくる人で、このタイプが多い。
  - C……30 m〜40 mにかけて速さの落ちこみがある人。このタイプが次に多い。
  - D……速さの落ちこみがなくて、スピードを落とさずに走れている人。数人。
  - E……40 m〜50 mにスピードが落ちる人
- めざすはDの人の走りです。オリンピックに出場している陸上選手も実際にスピードを落とさずに走れているからです。(ウサイン・ボルト選手が北京大会の時のスピード曲線です。50 mを5秒5で走っているというのもおどろきですが、50 mあたりから、一番速い速さ(トップスピード)を保ったまま走っていることがよくわかります。最後はタイムが落ちていますが、

ABCDEの人は何もなげく必要はありません。

### 授業の感想から 7/2

- ・どれもタイムはだいたい一緒だと思っていたらけど、最後の方が速くてびっくりしました。前よりタイムが速くなってうれいしです。(三瀬)
- ・今度は、10 mごとの速さを調べました。予想と実際は当たって、自分はパターンDで、理想の走り方であれしかったです。それに、10 mごとの速さを初めて知りました。(堀川)
- ・走ってみると、30 m〜40 mの所が一番速いことが分かった。あと、10 m〜20 mが一番おそかった。Eだったけど、Dみたいな記録を出したい。(塚本)
- ・自分では、⑤が一番速く走れた。③〜⑤走っている時、少し軽くて、リズムが整っていたと思った。(藤岡)
- ・最初はおそくて、どんどん速くなっていくのは予想できていたけど、30 mが一番速かったから、びっくりした。(大武)
- ・10 mずつのタイムを計って、50 mでのタイムがど

走りのふしぎをさがそう<その3> 月 日 (なまえ 学年 性別)

(1) 50mの走り(前の時間の記録)

ふつうのきろく	9秒38	予想	③	実際	③
ベストタイム	9秒17	一番はやい	④	一番おそい	②

(2) 50mのどこがはやいか? 50mではどこがはやく走れて、どこがおそいと思いますか? (①~⑤)

①	②	③	④	⑤
10m	20m	30m	40m	50m

※50mでとまらないで、コーンにタッチします。

(3) 50mのスピードをグラフにしよう

きより	10m	20m	30m	40m	50m
タイム	1.90	3.73	5.48	7.42	9.30
10mごとのタイム	0~10	10~20	20~30	30~40	40~50
	1.90	1.83	1.75	1.94	1.88

★わかったこと (20m) ~ (30m) がはやかった。  
(30m) ~ (40m) がおそかった。

◎授業の感想  
あたしが一番はやいと思ってた④が一番おそかったのびびりしてびっくりしました。④のころにはもうつかれていたのでびっくりしました。

- ・前半の10 mが2秒近くかかったことにびっくりした。最後の方にスピードが落ちていた。(井上)
- ・50 mを走ったら、30 m〜40 mが一番速いことがわかった。自分は、走るのが速くなって行って、最後にはスピードが落ちていることが分かった。(澤田)
- ・のように変化しているのか知れました。私は30 mの時のタイムが速かったです。最後の方は少しずつおそくなっているの、最後を意識してタイムを速くしたいです。

# 短歌を作ろう



「たのしみは」に始まり「とき」に終わる橘曙  
覧(たちばなのあけみ)の短歌。何気ない生活の  
中に、一つの楽しみを感じとっています。そこで、  
みんなにも「たのしみは〜とき」の短歌を作っ  
てもらいました。

たのしみって、ふだんはそんなこと考えること  
などないだけに、いきなり書けと言われても難  
しいものです。しかし、なかなかの力作で、みん  
なのいろんな楽しみを知ることができました。

## みんなの作品から

たのしみは終わりがけの四時間目

給食何か考えるとき

(井阪)

たのしみは一週間の最後の日

ベッドに向かってとびこんだとき

(奥谷)

たのしみは 一週間の最後の日に  
ベッドに向かってとびこんだ時



奥谷 穂乃音

香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集 「みんなて」 第36号 2020.7.7(火)

たのしみはバスケの試合  
シュートが決まって喜びのとき  
(岩本な)

たのしみは家に帰って宿題を  
ほってゲームで遊んでいるとき  
(岩本ひ)

たのしみは宿題終わりパソコンの  
好きなゲームプレイするとき  
(堀川)



たのしみは宿題おわりパソコンの  
好きなゲームもプレイする時  
堀川 太郎作

たのしみは家に帰って宿題が  
終わって後で遊んでいるとき  
(岡田)

たのしみはベッドに入りイヤホンで  
音楽聴いてねむりつくとき  
(井上)

たのしみはドッジボールの大会で  
勝ってみんなで喜び合うとき  
(木村)

たのしみは家族みんなでタッポ飯  
ああおいしいと食べているとき  
(三瀬)

たのしみは家に帰って愛犬が  
出迎えてくれてじゃれているとき  
(澤田)

たのしみは習い事などない時に  
家でのんびりテレビみるとき  
(八田)

たのしみはテニスの試合でラブゲーム  
取ってゲームを終わらせたとき  
(佐藤こ)

たのしみは体育の時間跳び箱で  
きれいに跳んでほめられたとき  
(喜沢)

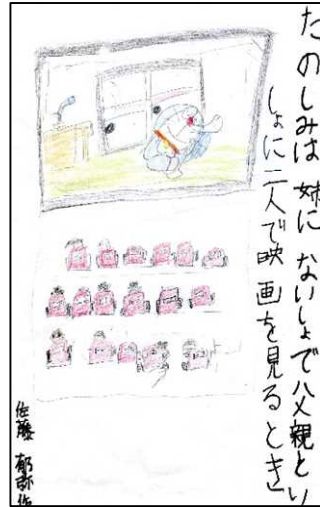
たのしみはたまにしかない休みの日  
家族みんなでお出かけのとき  
(藤岡)



藤岡 実良作

たのしみはたまにしかない休みの日  
家族みんなでお出かけする時

たのしみは姉にないしよで父親と  
いっしょに二人で映画観るとき (佐藤ふ)



たのしみは空手のけいこを終えてから  
家でアイスを食べているとき (磯田)

たのしみは宿題急いで終わらせて  
友達と一緒にゲームするとき (西野)

たのしみはサッカー試合で活やくし  
チームのみんなにほめられたとき (大武)

たのしみは家族みんなで野球観て  
打つか打つかと待っているとき (塚本)

たのしみは業間休みに本を読み  
読書貯金がたまっているとき (久保)

たのしみは野球の試合でヒット打ち  
点が入って喜んだとき (酒井)

たのしみは静かな部屋でじっくりと  
ねころびながら本を読むとき (土家)

たのしみはイヤホンをつけウキウキと  
好きな曲を耳にするとき (渋谷)

たのしみは早く帰って宿題し  
空いた時間でゴロゴロするとき (戸川)



たのしみは家でゴロゴロしていたら  
友から遊ばと声かかるとき (中岡)

たのしみは剣道場ですぶりして  
面銅小手と竹刀打つとき (倉谷)

たのしみは家のアイスを楽しみに  
早く帰ると急いでいるとき (高山)

たのしみは夜のすぶりを終えてから  
つかれてアイスを食べているとき (谷口)

たのしみは自転車に乗って友達と  
自転車に乗って遊びに行くとき (下田)

たのしみは好きなご飯を食べまくり  
口いっぱいにはおぼつてるとき (安川)

たのしみはひまな時間にいろいろな  
おもしろい本読んでいるとき (川原)

たのしみは学校帰りに友達と  
連想ゲームをして帰るとき (菅野)

たのしみはせまいところに入りこみ  
バレないようにかくれているとき (上田)





香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集 「みんなで」 第37号 2020.7.8(水)

学級目標―「わかること」と「できること」―

先生は、もう二十年以上この学級目標を使っています。毎年同じ物を使っているのでも、もうボロボロです。そして、この学級目標を使うのも、今年一年で終わりになります。

この学級目標は、今ではもうすっかり忘れてしまっていますが、どこかの中学校の教室にはつてあった学級目標です。いいなと思って、その先生の学級目標を二十年以上ずっと拝借してきた訳です。

学級目標の中身ですが、「できること」と「わかること」は、密接な関係を持ちながらも、ちがうこととしてとらえています。「わかってできる」ことを目指すのですが、「わかっていてできない」場合もあります。「わからずできない」場合は、先生にはよく分かるので、しっかり教えることができます。問題なのは、「わかっていなくてもできていない」場合です。これは、やり方だけを知って、機械的にできるよくなる場合です。算数の計算や体育で勝手にできてしまふときです。このような場合は日々の課題をしっかりと見極めて、技術や理屈が十分

4組 学級目標

- みんなで「わかる」ようになろう
- みんなで「できる」ようになろう
- みんなで「できた」「わかった」感動を大切にしよう

「わかる」ように教えて行きます。

ところが、今年から新しく始まった学習指導要領では、「わかる」「できる」を一色単にしてしまっていて、これは大問題だと感じています。先生は、日々のみんなの理解を「わかる」「できる」で見たいこうと思っています。

学級目標は、クラスの人と相談して決めるやり方もありますが、先生は「みんなで」という文言が好きであり、学級文集のタイトルにも使ってきました。学年が変わるうが、学校が変わるうが、この言葉をずっと使っています。それは、「みんなで」学ぶために学校があり、「みんなで」つくるのが学校だと思っからです。学校というのは、いろんなちがいをもった人がいて、いろんな考えが出せるからこそ、授業が深まるし、クラスが楽しくなるのだと思っます。だから、「みんなで」学ぶことがだいじになってくると思うのです。「みんなで」いっしょに勉強して、「みんなで」みんなのことを考えられる、そんなクラスにしていきたいです。ずいぶん遅くなつてしまっただけ、学級目標を前の壁に掲示します。

みんなの日記から

佐藤郁弥



□「新しい自転車」

ぼくは、六月が始まったぐらいに、前まで乗っていた自転車小さくなつたので、新しい自転車をかうことになりました。そして、買おうと決めた一週間、どのサイズがいいかのガラーがいいかなどを考えました。

考えた後、自転車屋に行きました。ですが、ぼくがほしいと思っっている自転車はあったのですが、ぼくの好きなカラーがなくて、入荷を待つことになりました。そして、昨日、自転車が入荷されました。

ぼくが買った自転車は、ママチャリとスポーツサイクルの間の自転車です。なぜ、この自転車を選んだのかと言うと、ぼくはママチャリの大きなカゴは使わないし、それにママチャリだと重たいから、ママチャリにはしませんでした。それと、スポーツサイクルは乗るのが難しい、カゴもないので、スポーツサイクルにもしませんでした。なので、ぼくはママチャリとスポーツサイクルの間の自転車にしました。

この自転車は、カゴもそんなに大きくなくて、スピードも結構出て、ぼくの理想の自転車にぴったりでした。前の自転車には悪いけど、この自転車が一番いいと思いました。

□「スイミング」 川原ことみ

私は土曜日に、スイミングに行きました。その日は、二ヶ月に一回あるテストの日でした。この時、私は一級で、バタフライを泳いでいて、弟は七級で背泳ぎをしていました。

テストするのは、ある程度練習してからです。練習が終わって、テストをしました。テストのこう目は、バタフライできれいに二十五メートル泳ぐと言うことでした。私泳ぎ終わった後、

(泳げたんじやないかな)

と思いました。テストの結果は合格でした。うれしかったです。

一級の次は、タイム級のD級でした。タイムでは、速く泳いでタイムを計るので、速く泳げるようにがんばりたいです。

弟もテストに合格でした。新しいワッペンを買った後に、アイスを買って食べました。冷えていておいしかったです。

□「いとこ」 喜沢優衣

私にはいとこがいます。いとこはお母さんの妹の子どもで、この前の誕生日で二才になりました。

家に遊びに行くと、とても喜んでくれます。まだあまりしゃべれないので、私のことは、「い。」と呼び、妹の優杏は、「あ。」と呼びます。

車がとても好きで、トミカをたくさん持っています。遊びに行くたびに、トミカが増えていて、いつも並べています。

最近、イヤイヤ期になり、なんでもイヤイヤと言います。私も小さいころ、イヤイヤ期があったのかをお母さんに聞いてみました。すると、「少しあったかなあ。」

十二月には二人目が生まれます。

□「部屋の片付け」 佐藤晃太郎

ぼくは、昨日、部屋を片付けました。使い終わったノートが散乱していて、ひどい状態でした。ノートを片付けてみると、休講期間中に、十二冊も使っていました。我ながらすごく勉強をがんばりました。

次は、去年の教科書、ノートを捨てました。作文帳を見ると、今と去年では今の方が作文の書き方が上手くなっていて、うれしかったです。

最後に、机の上を片付けました。消しカスを掃除して、本棚も整理しました。塾のテキストを、国算理社に分け、準備をしやすいように大改造をしました。

掃除してから勉強がはかどるようになりました。これからはこの状態をキープしたいです。

□「家庭菜園」 岩本響

ぼくは家で野菜を育てています。土を耕しるところから始め、肥料もやり、苗も買ってきて庭に植えました。キュウリ二本、トマト三本、ナス一本、毎日水をやってやり続けてやっど収穫ができるようになりました。でも、一気にできたので食べきれません。今日は大きなトマトが五個出来ました。

「今日のご飯はトマト五個と白ご飯な。」と言われました。

ぼくはトマトが大好きです。これからもトマトがいっぱいできるのが楽しみです。

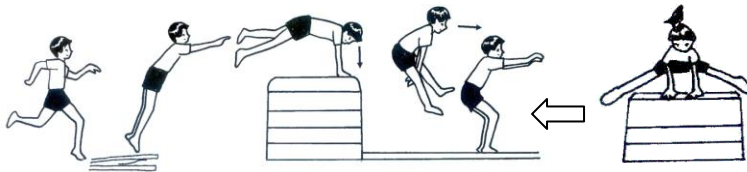


香芝市立下田小学校 6年4組 学級文集 「みんなで」 第38号 2020.7.9(木)

跳び箱の授業 その③「開脚跳び」

跳び箱が跳べるかどうかというのは、開脚跳びのことを指すことが多いようですが、その跳び方は、「開脚跳び」と言うよりは、「開脚またぎこし」というような跳び方です。「またぐ」ではなくて、しっかり手を着きはなすような開脚跳びを目指してほしいです。

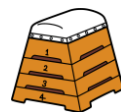
これまで、「反転系横跳びこし」↓「かかえこみ跳び」という順序で学習を進めてきましたが、前の時間に行った「かかえこみ跳び」と同じように、跳び箱を横にして、「開脚とび」を行います。しっかり脚を開いていないと、跳び箱を跳ぶことはできません。脚を開くことも大事ですが、それ以上に、手をつきはなすことが大事です。ロイター板を少し遠ざけて、開脚で跳んでみます。足が跳び箱の上をこえるように跳びます。それが、出来たら跳び箱を縦にして跳びます。「またぎこす」のではなくて、跳び箱を横にして跳んだのと同じように、跳び箱の上を通るように



跳ぶのです。手を着くときは、「かかえこみ跳び」と同じように、ねこちゃん体操の「フツ」を意識します。そして、すぐにアゴを上げて「ハツ」で着地にします。視線をすぐに上げるようにするのです。

授業の感想から

7/6



ロイター板を近くに置いて跳ぶよりも、遠くに置いて跳ぶ方が、やりやすいということが分かった。次は、もっと足を上げられるようにがんばりたい。

(八田)

跳び箱を見ながらジャンプして、足を跳び箱より上にして、最後に手をつきはなすことができ

(岡田)

開脚跳びで、足を跳び箱より上げて跳ぶことが難しかったけど、目線を上げ、思い切りふみこむとやりやすくなりました。足をのばしたきれいな開脚跳びができるようになります。

(澤田)

最初はこわかったけど、後からどんどん出来て楽しかった。縦のかかえこみ跳びが今回は出来なかったの、次は出来るようになりたい。(木村)  
横置きも縦置きも跳ぶのは出来るけど、着地した時に、前に行ってしまう。もっと練習してきれいに着地出来るようにがんばりたいです。

(喜沢)

跳び箱より、つま先を上にするのが、思っていたより難しかった手の着く位置などを変えるなど工夫して、出来るようになりたい。

(大武)

・開脚跳びの横置きは、結構できていたけど、縦置きは、こわくてそんなにうまくできませんでした。少しこわいけど、水平跳びをやりたいです。  
(上田)

・開脚跳びがとても難しかった。足があまり上がらなかった。  
(塚本)

・開脚跳びはあまり出来なかった。でも、周りの友達の前を見て、出来るようになってきた。  
(倉谷)

・開脚跳びは、見た目よりも難しくて、アゴを上げたり、跳び箱の後ろの方を着くと良いことが分かりました。ぼくは、アゴを上げることに集中していたら、結構うまく出来ました。  
(堀川)

## みんなの日記がっ



木村優太

□「四時間のもう練習」

ぼくは、七月五日、日曜日に、三時〜七時三〇分まで、ドッジボールの練習がありました。

一番しんどかったのは、ランニングで、本気で五分間走り続けました。何とか、五分間走り続けることができて、終わった後、しんどいなど思いました。

後二時間十分ぐらいになった時、かんとくが、「よっしゃー、試合やるぞー。」

と言ってくれたので、みんな喜びました。メンバーは、ぼくらオフィシャル対かんとく、コーチ、ジュニアでやりました。

試合は、勝ったり負けたりしました。勝った時はうれしけど、負けた時は、くやしかったです。そして、ドッジボール四時間三十分のもう練習

習が終わりました。楽しかったです。次は練習試合で全勝して喜びたいです。

□「本屋さん」

三瀬詩月

私は、六月二十八日に、三洋堂書店に行きました。とてもうれしかったです。それは、コロナで外出できていなかったのが、本屋さんに行けたからです。

そして、本屋さんで、本を八冊買ってもらいました。とってもうれしくて、その日に一冊読みました。それは、「山猫」という本です。とてもおもしろかったです。その本では、山猫がおさるとお宝をうばい合い、だましたりするのがおもしろいです。読んでいる時、おもしろくて、つい笑ってしまいました。そして、この物語の人間関係もおもしろいです。

これからもたくさん読書をしたいし、読書貯金をためたいです。

□「ラグビー」

上田隼平

ぼくは、毎週日曜日に、こうりょうのグラウンドでラグビーの練習をしています。

前までは、コロナのせいで、タックルけいの練習ができなくなっていました。だけど、七月からは、タックルけいの練習ができるようになりました。ぼくは、バスの練習よりタックルの練習の方が好きです。

まず、バスの練習をしたとき、ぼくは、パスがへたくそなので、コーチにおこられました。しかも、その時、ぼくがクビになったポジション(スクラムハーフ)のことが思い出されて、少しイヤになりました。

ました。

その後で、タックルの練習をしました。ぼくは、タックルは好きだし、フワードでは、ほめられることが多いので、おこられたことも、思い出すことはなくなってきました。

最後に、チームメイトとテントとブルーシートを片づけました。

□「弟の宿題」

渋谷桃香

今週の火曜日に、弟が、「これ見て〜。めっちゃめっちゃおもしろいで〜。」と言ったので、何かなと思いながら、ノートを開けて中を見ると、バラエティー日記という、日記の宿題でした。

バラエティー日記のことについて、詳しく聞くと、五十六個の中から、バラエティー課題の一つを選び、その課題にぴったりな日記を書くというものでした。その課題の中から、弟は、「もしもこんな物があったら(新商品開発)」という課題にしました。弟が開発した物は、「らくらくランドセル」や「人間時計」「一分オープン」など色々な物を開発していました。

その中で、もつとも私が好きな商品は、「らくらくランドセル」です。そのランドセルは、三色のボタンがあり、赤色は、危険を知らせてくれる、青色は児童で朝ご飯を作ってくれて、黄色は、スパイ道具などを出してくれる(盗み聞きや人の答案も見える)便利な道具です。

これからも、弟が開発したものを知りたいです。

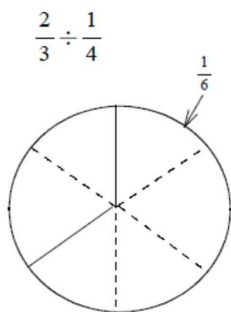


# 「たえちゃんを説得しよう」 ～分数のわり算～

香芝市立下田小学校 6年4組  
学級文集 「みんなで」  
第39号 2020.7.10(金)

6年生の「分数の割り算」の所ではいつもこんな授業をしています。算数の時間に映画『おもひでぽろぽろ』の VTR の1場面を見てもらいました。この映画は主人公たえが小さいときの自分を思い出すいくつかの場面できています。その思い出の一つに、小学生の時「分数のわり算」にこだわっていた場面があります。小学校5年生のたえは、算数のテストで 25 点をとってしまいました。たえちゃんには、自分の考えがあるらしく、ひっくり返す分数のわり算に納得行かずにとことんこだわります。

ショックを受けたお母さんは、お姉ちゃんに教えるようにたのみます。お姉ちゃんは説明するのですが、たえちゃんの方が説得ある説明をするのです。その一場面です。



姉「分数のわり算は、ひっくりかえてかけるって教科書で習ったでしょう。だからこたえは2と3分の2」

姉に対して、たえちゃんはわり算の説明を次のようにします。

た「分数を分数で割るってどういうこと？」

姉「3分の2個のリンゴを4分の1で分けるというのは、3分の2個のリンゴを4人で分けると一人何個かっていうことでしょう。だから、一人6分の1個」

姉「ちがうちがう。それは、かけ算」

た「かけるのに数が減るの？」

姉「……」

姉「とにかく、リンゴにこだわるから、わかんなくなるのよ！」

たえちゃんは、納得しないままでした。

## (1) VTRを見る前に

すでに、分数のわり算を習っているので、この計算をやってもらいました

$$\frac{2}{3} \div \frac{1}{4} = \frac{2 \times 4}{3 \times 1} = \frac{8}{3} = 2 \frac{2}{3}$$

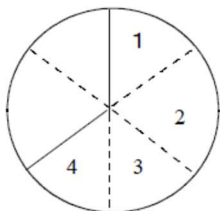
となり、答えは簡単に求められました。

## (2) VTR『おもひでぽろぽろ』を見る

映画を見てもらいました。たえちゃんの説明にはたいへん説得力があり、中には、うなずいている人もいました。計算では  $2\frac{2}{3}$  となるので、答えのまちがっているのはわかります。でも、たえちゃんの説明のどこがまちがっているのかわかりません。

## (3) たえちゃんの説明のどこがまちがっているのか？

どうしていいのか全くわからなかったので、まず、たえちゃんのどこがまちがっているのかを考えました。



「たえちゃんはいま説明したけど、これは4人で分けた説明であって、で分けたことにはならない。」ということに気づいた人がいました。たえちゃんの考えたことを式で表せば、 $\frac{2}{3} \div 4 = \frac{2}{3} \div \frac{4}{1} = \frac{2 \times 1}{3 \times 4} = \frac{1}{6}$

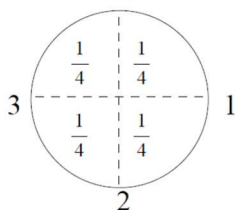
となり、問題文とはちがうということまでは、わかりました。

でも、このリンゴの絵からは  $2\frac{2}{3}$  は出てきません。お姉ちゃんの言うように、「リンゴにこだわるから……。」と言うのでしょうか。

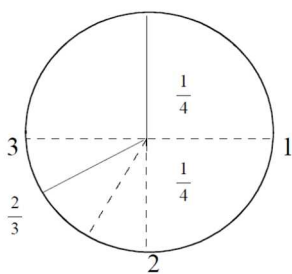
(4) それでは、答えはどうして求められるのか？

たえちゃんのまちがいは分かるけど、たえちゃんに説明ができないという人がほとんどでした。それで、これまで受け持った人の中で、わかりやすいという A さんの説明を紹介しました。

1 個のリンゴを  $\frac{1}{4}$  ずつ分ける。



これだと 4 人に分けられる。



まず、左のような図を書いて、「たえちゃんは問題文を 1 あたり量を求める計算だとしたのがまちがいで、分量を求める計算だと、リンゴで説明がつく。」と言うのです。

A さんの説明では、 $\frac{2}{3}$  個の中に、 $\frac{1}{4}$  個のリンゴがいくつ分とれるのかを考えたらよいということでした。

それを考える前に、次のような問題を考えるとといいます。

「一つのリンゴを  $\frac{1}{4}$  個ずつ分ければ、何人の人に配れますか？」という問題です。左の絵から分かるように、4 人に配れることが分かります。この問題を元に  $\frac{2}{3}$  個を  $\frac{1}{4}$  個ずつ分ける問題と考えればよいと言うのです。

そして、「 $\frac{2}{3}$  個のリンゴを、一人あたり  $\frac{1}{4}$  個くばると、何人にくばれますか。」という問題だと考えると、答えは出るようです。

\*点線で示した部分(4分の1)が2つ分とれて、3つ分はとれない。このはんぱの部分が3分の2となる。よって、2人分と3分の2、よって答えは3分の2」

しかし、この説明も無理があります。なぜなら、2と3分の2人って何?と言うことになるからです。もっとスッキリする説明を考えましょう。

・計算は簡単にできるけれど、説明するのは、どういう風に説明すると相手は理解しやすいかを考えるのが難しかった。次からは自分の口から説明できるようにしたい。(渋谷)

・算数の式で、ただただ公式を書いたら解けるけど、その式にどうしてこうなるのかを考えることも大切だとわかりました。間違いがわかって、答えが分かっても、それをいざ説明してって言われたら困ると言うことがよくわかった。(藤岡)

・たえちゃんの言ってることが間違ってるけど、「かけるのに数が減るの」と言うことには、確かにそれが不思議だと思った。算数でただ問題を解くだけじゃなく、たえちゃんみたいに色々なことを考えてみたい。(大武)

・割り算でひっくり返してかけると答えが出せると分かっていても、わかりやすく説明してって言われたら難しいなと思った。どうやって説明したらいいかを知った時、分かりやすいと思ったのと、自分でも考えてみたいと思った。(八田)

・どのように考えるとわかるのか、頭の中では理解していても、どう説明したらいいか最初はわかりませんでした。でも、先生のヒントを聞くと、「そういうことか」とわかってとてもスッキリしました。自分や友達が、たえちゃんのようにつまずいたとき、思い出して考えたり、教えてあげたりしたいです。(澤田)

・私はただ逆数をして計算していたけど、なぜその答えになるのかを考えたことがなかったからとても難しかったです。図に表すと分かりやすくなりました。(下田)

・たえちゃんが書いた答えが間違っている事は分かっていたけど、考え方のどこが間違っているかと言う所は分からなくて、聞いていたら納得した。たえちゃんの間違いは勉強になった。わかるように説明するのが難しかった。(川原)

・最初は自分も理解していなかったの、説明どこじゃなかったけど、先生が説明したら、どういう意味かが分かったのが良かったです。最初からモヤモヤしていたのでわかってすっきりしました。(久保)

・たえちゃんの考え方は、すごいと思った。私は何も考えていなかったから、次からたえちゃんのように考えようと思いました。こんな考え方があったなんて初めて知りました。(菅野)

・ただひっくり返す意味を知らないまま覚えると、人に教える時大変だと思いました。その意味を知ることで、教える時楽だし、勉強にも役立ちそうだと思います。(堀川)

・私もたえちゃんの言い分にすごく納得しました。よく考えてみると、たえちゃんの見方も正しく思えてしまいました。自分も思わず分からなくなってしまうました。たえちゃんの見方は独特だった。(奥谷)

・ぼくは、計算とやり方だけが分かたら簡単だと思ってやってみました。考えてみると今までやってきたほどに難しく感じました。算数は奥が深いなと思いました。(佐藤ふ)

・たえちゃんがなぜ分数のわり算を間違えたのか、初めはわからなかったけど、やっていくうちに、間違いはどこなのか分かって、どのように説明すれば良いのか分かった。そして自分の勉強にもなった。(岡田)